

各位

会社名：株式会社夢真ホールディングス

(コード：2362 JASDAQ)

代表者名：代表取締役社長 佐藤 大央

問合せ先：常務取締役経営企画本部長 添田 優作

(TEL：03-6859-5719)

## 減損損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年9月期第2四半期の決算において下記の通り減損損失を計上するとともに、最近の業績動向等を踏まえ、2019年11月14日に公表いたしました2020年9月期（2019年10月1日～2020年9月30日）の通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 減損損失の計上について

当社連結子会社であり、フィリピンにてエンジニア派遣事業等を行っております P3OPLE4U,Inc.にて、新型コロナウイルス感染症の拡大によるフィリピンでのロックダウン等により、顧客を喪失する事態となり非常に厳しい事業環境となっております。今後の損益見直しを見直し、将来の回収可能性を検討した結果、のれんの減損処理を実施し、419百万円の減損損失（特別損失）を計上することとなりました。

#### 2. 2020年9月期 通期 連結業績予想値の修正（2019年10月1日～2020年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	63,000	8,000	5,400	円 銭 70.59
今回修正予想 (B)	58,000 ～60,000	5,800 ～6,600	3,700 ～4,200	48.65 ～55.22
増減額 (B-A)	△5,000 ～△3,000	△2,200 ～△1,400	△1,700 ～△1,200	—
増減率	△7.9% ～△4.8%	△27.5% ～△17.5%	△31.5% ～△22.2%	—

(注)当社は2020年9月期通期決算発表から、国際会計基準 (IFRS) を任意適用することといたしました。このため、2020年9月期の連結業績予想はIFRSに基づき作成しており、前期実績は記載しておりません。

#### 【業績予想修正の理由】

新型コロナウイルス感染症の拡大等により、企業活動停滞し景気減速の厳しい局面を迎える中、当社の中核事業である人材派遣事業におきましては、主要派遣先である建設業界やIT業界等の需要状況への影響は現時点では軽微なものであります。しかしながら、先行き不透明な状況が続いており需要状況においても今後より影響が表面化してくることが考えられ、工事の一時中断や工期の延長、派遣先の人員調整等により、新規稼働の減少や稼働決定スピードの鈍化が想定されます。

当社は、現在在籍している当社技術者の雇用維持を優先すると同時に需要環境とのバランスを取るため、成長ドライバーである採用活動を一時的に中断しており、当初計画より技術者数の伸びが低下する見込みとなります。今後に関しましても、需要に合わせ柔軟に採用活動を調整してまいりますので、業績予想値に関しては、【1】6月以降の採用活動を通常ペースに戻した場合及び【2】2020年9月期末まで採用ペースを抑制した場合の2パターンを想定し、特定値ではなくレンジ形式により開示いたします。また業績予想の修正の詳細に関しましては、本日開示の「2020年9月期 第2四半期 決算説明資料」を合わせてご参照ください。

なお、2020年9月期の配当予想に関しましては、2019年11月14日に公表いたしました年間配当金1株当たり35円からの変更はございません。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上